

活動プログラム展開案 < 小学校 >
 「友達のトラブルを解決する方法を練習しよう」

本時のねらい

- ・トラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習することができる。

授業前の取り扱い

- ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、児童の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。役割演技のときは、児童の特性を踏まえて役割の順番を意図的に決めておく。
- ・本時の内容について配慮を要する児童がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせておく。
- ・2つのシナリオは事前に配っておき、どちらをするかグループで決めさせる。

展開（本時で使用する【スライド1】～【スライド11】は、展開案の後に示しています。

なお、スライド資料を使用せずに、板書することも可能です。）

学習活動	教師の働き掛け() 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
1. 前時の学習について振り返る。 【2分】	【スライド1】【スライド2】 前の時間は、「友達2人の間でトラブルが起きたときにどのようにすればよいか」について学習しました。トラブル解決のポイントを確認します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【トラブル解決のポイント】 2人の真ん中に立つ トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう 相手の話を最後まできくことを確認する 2人の言い分を確認しながら交互にきく 自分の考えや意見を出さない トラブルが解決しない場合は、大人に話す </div>	・【スライド1】は、授業前に提示しておく。前時の練習場面を想起させながら、スライドを見てトラブル解決のポイントを押さえる。
2. 本時のめあてを知る。 【5分】	【スライド3】 今日は、トラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習していきます。 前回の学習では1回練習をしました。そのとき、「間に入るのが難しかった」「本当のトラブルのときに間に入ることが実際にできるか分からない」といった感想がありました。確かに難しいですが、Cさんの話の聴き方は、普段の生活でも生かすことができるものですし、もめごとを見過ごさず少しでも関わろうとする意識が皆さんの中に広がれば、学校生活がより良くなると思います。	
【本時のめあて】 友達のトラブルを解決する方法を練習しよう		
3. トラブル解決のポイントに気を付けながら練習する。 【25分】	今日はシナリオを2つ用意しています。グループで選んだシナリオで練習しましょう。	・2つのシナリオは事前に配っておき、どちらを練習するかグループで決めさせておく。 ・ワークシートと役割カ

【スライド4】【スライド5】
2つのトラブルの場面を全員で確認します。

ード、ニコマークとニコニコマークのセットを配付し、練習シナリオを机に出させる。

- ・身の回りでも、このようなトラブルの場面があることを確認する。

【トラブルの場面】

そうじをまじめにやっていたかやっていないかで、AさんとBさんがもめています。それに気付いたCさんが2人に声を掛けようとしています。

【トラブルの場面】

列に割り込んだか割り込んでいないかで、AさんとBさんがもめています。それに気付いたCさんが2人に声を掛けようとしています。

トラブル解決のための5つのポイントに気を付けながら練習しましょう。

【スライド6】
練習をするときの約束を確認します。

- ・恥ずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・よいところを見つける

【スライド7】
4人グループになり、「もめている役」(2人)と「間に入る役」、「見守る役」に分かれて練習します。
今日は、役を交代しながら全部の役を体験します。

練習の流れを説明します。
役割演技をします。1つの役割が終わったら互いに拍手をして、役割カードを外し席に戻ります。席に戻ったら、「見守る役」の人は「間に入る役」の人に良かったところを伝えます。「間に入る役」の人はワークシートに記入します。これが1回目の練習です。

【スライド8】
時計回りに役を交代しながら、全部の役を体験し

- ・役割の交代の仕方を提示しておく。
- ・台詞が長いため、練習をする前に自分の役割の台詞に線を引いたり全員で役割読みをしたりするなど、学級の実態に合わせて準備を行う。
- ・「もめている役」「間に入る役」「見守る役」の役割カードを首に掛ける。
- ・立ってロールプレイを行う。そのとき「もめている」役の2人の立ち位置を決めておき、その間にCが入ってくるように指示する。

・「見守る役」は「間に

ます。「見守る役」の人は、「間に入る役」の人をよく見て、4～5つのポイントができていたらニコマークを、さらにポイント以外に工夫しているところがあったらニコニコマークを出してください。後で、できていたポイントや良かったところを「間に入る役」の人に伝えてください。

全員終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。練習の仕方は分かりましたか。

「間に入る役」がトラブル解決のポイントを使っていたかどうかを目を向けさせる。「見守る役」にニコマークとニコニコマークのセットを持たせ、「間に入る役」が話し終わったらどちらかを出すように指示しておく。

・役割から降りて、演じた役割や相手に対して抱いた感情を引きずらないように、一度気持ちを切り替えさせる。

【場面 シナリオ】

A：ねえBさん、ちゃんとそうじてよ。

B：は？ちゃんとやってるけど。

A：うそばかり。遊んでいってよ。

B：だから、ちゃんとそうじてたって。うるさいなあ。

C：ちょっと待って。何？どうしたの？なんかすごくもめてるけど。

B：私はちゃんとそうじていたのに、Aさんが私に遊んでたって言うの。

A：だって、遊んでばかりでそうじゃないでしょ。

C：分かった、分かった。もめてるんだよね、今。

A：うん。

B：うん。

C：じゃあ、そのもめていることを解決したいと思うんだけど、ちょっと話に入らせてもらっていいかな。

A：うん。

C：Bさんもいい？

B：うん、いいよ。

C：ありがとう。じゃあ、いっしょに解決していこう。

A：うん。

B：うん。

C：話をきかせてもらう前に1つ、相手の話を最後まできくというルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？

A：がんばってみる。

C：Bさんは？

B：じゃあ、私もがんばる。

C：よし、じゃあ、このルールを守って、話をきかせてね。どちらから話をきこうかな。

A：じゃあ、私から言っていい？

C：Bさん、Aさんから言ってもらっていいかな。

B：うん、いいよ。

C：じゃあ、Aさんお願いします。

A：私は、Bさんがちゃんとそうじをせずに、ふざけてたから注意したんだけど。

B：(話をさえぎるように)ふざけてません！

C：あっ、Bさん。ちょっと待って。

約束したルール覚えてる？相手の話を最後まできくんだよね。だから、ちょっとがまんしてくれるかな。

B：うん、そうだった。

C：その言いたかった気持ちとか、言いたかったことは覚えておいてね。次にBさんの番が回ってくるから、それまでちょっと待って

てね。

B : うん、分かった。

C : Bさん、ありがとう。

B : うん。

C : じゃあ、Aさん。続きをお願いします。

A : Bさんがちゃんとそうじをせずに、ふざけていたから注意したんだけど、Bさんはきいてくれなくて。

C : Bさんがふざけていたから注意したとAさんは言ってるけど、Bさんはどう？

B : いや、私はふざけず、ちゃんとそうじしてたよ。

それなのに、Aさんが変な言いがかりを。

C : Bさんはちゃんとそうじをしていたって言ってるけど、Aさん、どうかな？

A : Bさんは、同じところばかりやってて、まじめにやっているようには見えなくて。

C : Aさんは、Bさんが同じところばかりそうじしているから、まじめにやっているようには見えなかったって言ってるけど…。

Bさん、どうかな？

B : 確かに、考え事してたからまじめにやってないように見えたかもしれなくて、ふざけてたんじゃないし、遊んでもなかったよ。

C : Bさんは、考え事をしながらそうじをしていたんだって。Aさん、どう？

A : 考え事していたなんて知らなかった。

C : Aさんは、Bさんが考え事をしていたなんて知らなかったんだって。Bさん、どう？

【場面 シナリオ】

A : ねえBさん！割り込まないで、ちゃんと後ろに並んでよ。

B : は？割り込んでないよ。

A : うそばかり。割り込んだでしょ。見てたもん。

B : なんで？ちゃんと並んでたよ。うるさいなあ。

C : ちょっと待って。何？どうしたの？なんかすごくもめてるけど。

B : 私はちゃんと並んだのに、私が割り込んだってAさんが言うの。

A : だって、みんな並んでるのにBさんが割り込むから悪いんですよ。

C : 分かった、分かった。もめてるんだよね、今。

A : うん。

B : うん。

C : じゃあ、そのもめていることを解決したいと思うんだけど、ちょっと話に入らせてもらっていいかな。

A : うん。

C : Bさんもいい？

B : うん、いいよ。

C : ありがとう。じゃあ、いっしょに解決していこう。

A : うん。

B : うん。

C : 話をきかせてもらう前に1つ、相手の話を最後まできくというルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？

A : がんばってみる。

C : Bさんは？

B : じゃあ、私もがんばる。

C : よし、じゃあ、このルールを守って、話をきかせてね。どっちから話をきこうかな。

A : じゃあ、私から言ってもいい？

C : Bさん、Aさんから言ってもらっていいかな。
 B : うん、いいよ。
 C : じゃあ、お願いします。
 A : 私は、Bさんが順番を守らずに列に割り込んできたから注意したのに、Bさんが怒って・・・。
 B : (話をさえぎるように)割り込んでません！
 C : あっ、Bさん。ちょっと待って。
 約束したルール覚えてる？相手の話を最後まできくんだったよね。だから、ちょっとがまんしてくれるかな。
 B : うん、そうだった。
 C : その言いたかった気持ちとか、言いたかったことは覚えておいてね。次にBさんの番が回ってくるから、それまでちょっと待っててね。
 B : うん、分かった。
 C : Bさん、ありがとう。
 B : うん。
 C : じゃあ、Aさん。続きをお願いします。
 A : Bさんが列に割り込んできたから、注意したの。
 C : Bさんが列に割り込んだから注意したとAさんは言ってるけど、Bさんはどう？
 B : いや、私が列に並ぼうとしたときは、後ろにだれもいなかったから、そこに並んだだけだよ。それなのにAさんが突然注意してきた。
 C : Bさんは、後ろにだれもいなかったから、そこに並んだって言ってるけど、Aさん、どうかな？
 A : 後ろにも並んでいたよ。それなのにBさんがそこに入ってきたから注意したんだよ。
 C : Aさんは、後ろにも並んでいる人がいたから注意したって言ってるけど、Bさん、どう？
 B : Bさんは、後ろに並んでいたのは知らなかったんだって。Aさん、どう？

4 . グループ練習についてのシェアリングをする。
 【5分】

グループの練習で良かったところを紹介してください。

先生が見付けた「トラブル解決名人」を紹介します。

・トラブル解決の仕方の良かった児童を数名紹介して、トラブル解決のポイントを再確認する。ポイント以外でも工夫している点を紹介する。

5 . 本時の学習を振り返る。
 【5分】

【スライド9】【スライド10】
 今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。

【スライド11】
 今日の学習の気付きや感想を発表しましょう。
 ・もめている2人の話を交互に聴くことは難しかった。
 ・「間に入る役」で、もめている2人の間に立つことは勇気があるけれど、公平に話を聴くことができると思う。
 ・学級でもめている人たちがいたら、解決できるように間に入りたい。

・ふりかえりシートを配付する。

・ふりかえりシートに記入したことをグループで発表し合った後に、全体の場で発表させる。机間指導をしながら児童が書いている内容を確認して、発表する児童がいない場合

<p>6. プログラム全体を振り返る。 【3分】</p>	<p>これまで「トラブルが起きるときにどのような気持ちをもつか」「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」「トラブルが起きたときにはどのようにすればよいか」について学習してきました。 これから、学校の中で腹が立ってイライラしたりムカムカしたりすることがあるかもしれません。また、小さなトラブルが起きるかもしれません。でも、もしトラブルが起きても、これまでの学習を生かしてトラブルを話し合いで解決できるようにするとよいですね。</p>	<p>は、それを紹介してもよい。 ・これまで学習してきた活動プログラム全体を想起させ、学習してきたことを今後に生かすことができるように声掛けをする。</p>
----------------------------------	--	--

評価の視点



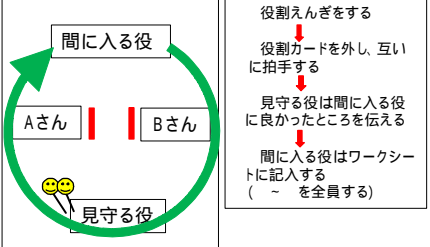
- ・トラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習することができたか。

授業後の取り扱い

- ・児童の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における児童の様子を観察する。

板書計画(6時目)

【めあて】友達のトラブルを解決する方法を練習しよう

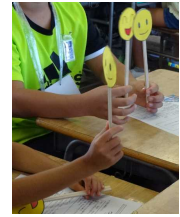
<p>【前時のふりかえり】</p>  <p>前時の学習で使用した資料などを提示します。</p>	<p>【スキルのポイント】</p> <p>2人の真ん中に立つ トラブルを解決するために、間に入って よいか2人にOKをもらう 相手の話を最後まできくことを確認する 2人の言い分を確認しながら交互にきく 自分の考えや意見を出さない トラブルが解決しない場合は、大人に話す</p> <p>ポイントは「・」や「…」 などで示します。それ以外に 児童からヒントとなる意見が出 された場合も、下方に板書して おきます。</p>	<p>【練習するときの約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見つける <p>【相互評価の説明等】</p> 	<p>【役割と進め方】</p> 
--	--	--	--

練習がスムーズに進められるように、役割の進め方を掲示したり相互評価のやり方の説明を板書したりします。

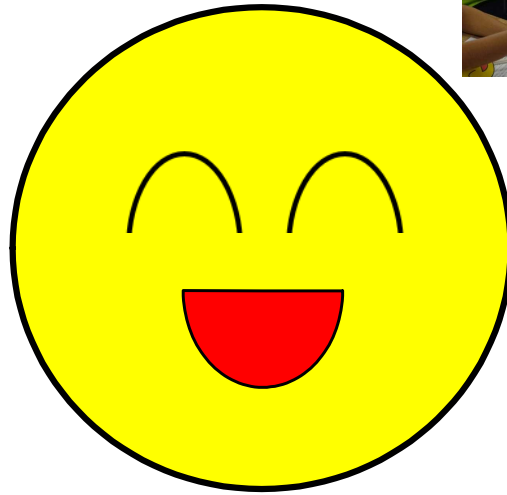
【ニコマーク&ニコニコマーク】

原寸大

それぞれの表情を2枚ずつ厚紙に印刷し、その間に割り箸を挟んで仕上げます。



ニコマーク



ニコニコマーク



【役割カード】

厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



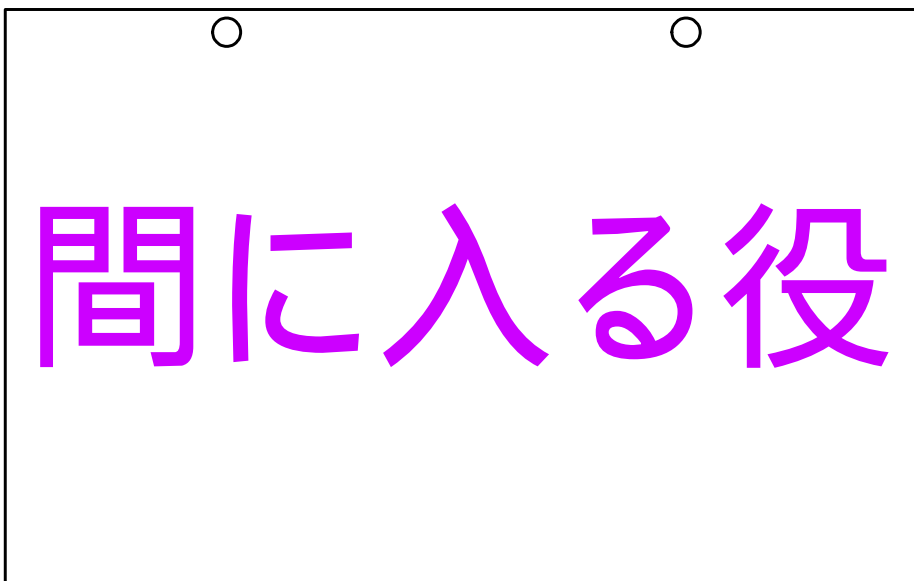
【役割カード】

厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



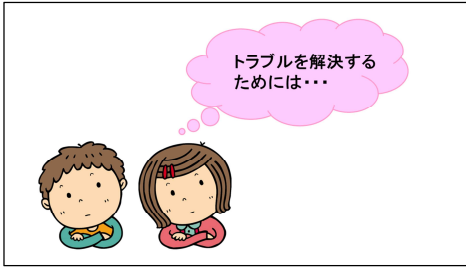
【役割カード】

厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



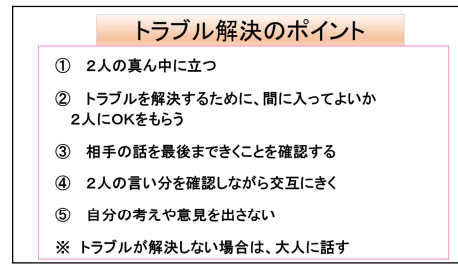
本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

【スライド2】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間は、「友達2人の中でトラブルが起きたときにどうすればいいか」について学習しました。

トラブル解決のポイントを確認します。

- ① 2人の真ん中に立つ
 - ② トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう
 - ③ 相手の話を最後までできくことを確認する
 - ④ 2人の言い分を確認しながら交互にきく
 - ⑤ 自分の考えや意見を出さない
- ※ トラブルが解決しない場合は、大人に話す

【スライド3】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

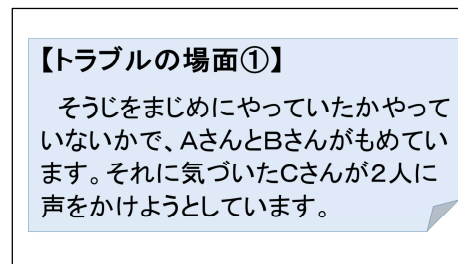
今日は、トラブル解決のポイントを使って、友達のトラブルを解決する方法を練習していきます。

前回の学習では1回練習をしました。そのとき、「間に入るのが難しかった」「本当のトラブルのときに間に入ることが実際にできるか分からない」といった感想がありました。

確かに難しいですが、Cさんの話の聞き方は、普段の生活でも生かすことができるものですし、もめごとを見過ごさず少しでも関わろうとする意識が皆さんの中に広がれば、学校生活がより良くなると思います。

今日はシナリオを2種類用意しています。
 グループで選んだシナリオで練習しましょう。

【スライド4】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

2つのトラブルの場面を全員で確認します。

1つ目は・・・そうじをまじめにやっていたかやっていないかで、AさんとBさんがもめています。

それに気づいたCさんが2人に声を掛けようとしています。

【スライド5】

【トラブルの場面②】

列に割りこんだか割りこんでいないかで、AさんとBさんがもめています。それに気づいたCさんが2人に声をかけようとしています。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

2つ目は…列に割りこんだか割りこんでいないかで、AさんとBさんがもめています。それに気づいたCさんが2人に声を掛けようとしています。

トラブル解決のための5つのポイントに気を付けながら練習しましょう。

【スライド6】

【練習するときの約束】

- ・はずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・よいところを見つける

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習するときの約束を確認します。

- ・はずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・良いところを見付ける

【スライド7】

役割演技の進め方

- ① 役割演技をする（交代で全部の役）
 - ② たがいに **はく手をして カードを外し** 席にもどる
 - ③ 「見守る役」は「間に入る役」に良かったところを伝える
 - ④ 「**間に入る役**」はワークシートに記入する
- ※ ①～④を4回くりかえす

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

4人グループになり「もめている役」(2人)と「間に入る役」、「見守る役」に分かれて練習します。今日は、役を交代しながら全部の役を体験します。

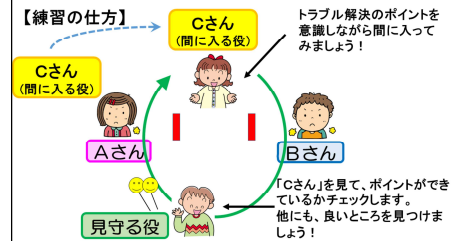
練習の流れを説明します。

- ① 役割演技をします。
- ② 一つの役割が終わったら互いに拍手をして、役割カードを外し自分の席に戻ります。
- ③ 席に戻ったら、「見守る役」の人は「間に入る役」の人に良かったところを伝えます。
- ④ 「間に入る役」の人は、ワークシートに記入します。

これが1回目の練習です。

【スライド8】

【練習の仕方】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印の時、アニメーションを動かす)

●時計回りに役を交代しながら、全部の役を体験します。

「見守る役」の人は、「間に入る役」の人をよく見て、4～5つのポイントができていたらニコマークを、さらにポイント以外に工夫しているところがあったらニコニコマークを出してください。後で、できていたポイントや良かったところを「間に入る役」の人に伝えてください。

全員終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。練習の仕方は分かりましたか。

(終了後)

グループの練習で良かったところを紹介してください。

先生が見付けた「トラブル解決名人」を紹介します。

【スライド9】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習を振り返ります。

【スライド10】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

ふりかえりシートに記入しましょう。

【スライド11】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習の気づきや感想を発表しましょう。

- ・もめている2人の話を交互に聴くことは難しかった。
- ・「間に入る役」で、もめている2人の間に立つことは勇気がいるけれど、公平に話を聴くことができると思う。
- ・学級でもめている人たちがいたら、解決できるように間に入ってみたい。

これまで「トラブルが起きるときにどのような気持ちをもつか」「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」「トラブルが起きたときにはどのようにすればよいか」について学習してきました。

これから、学校の中で腹が立ってイライラしたりムカムカしたりすることがあるかもしれませんが、また、小さなトラブルが起きるかもしれません。でも、もしトラブルが起きても、これまでの学習を生かしてトラブルを話し合いで解決できるようになるとよいですね。